横浜市立 下和泉小学校　　令和　4　-　6　年度版　中期学校経営方針　（令和　5　年度修正）

学校教育目標	「笑顔がすてき　いいこといっぱい　下和泉」 ～　ふれあい　認め合い　学び合い　～ ○自ら課題を見出し、共に学び合うことで基礎・基本を身につけ、主体的に学ぶ態度を育てます。【知】 ○進んで自分らしさを発揮し、自分のよさを伸ばせるとともに、他の人との違いも認め合うことができる子どもを育てます。【徳】 ○健康や安全の大切さに気づき、心身ともに健やかな子どもを育てます。【体】 ○共に学び合い、地域社会の一員として、より豊かな人間関係を築ける子どもを育てます。【公】 ○様々な社会の変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。【開】

学校概要					
創立　50　周年	学校長　舩木　淳	副校長　玉置　智子	2　学期制	一般学級：12	個別支援学級：7
児童生徒数：　402　人	主な関係校：　泉が丘中学校　中和田南小学校　伊勢山小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
＜自分らしさ発揮しようとする姿勢＞ ＜多様性を尊重する態度＞ ＜思いや考えを表現する力＞

泉が丘中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「９年間で育てる子ども像」と具体的取組
泉が丘中 下和泉小学校 中和田南小学校	○進んで人や地域と関わり、自他のよさに気付ける子ども ○これまでの学びをこれからの学びに生かしていくことが子ども ○中学校教員との教務主任会・教科主任会や授業交流会などの合同会議を行い、すべての職員が協働して小中一貫カリキュラム の検証を行い質を高めます。 ○専任同士の情報交換を密にし、卒業生が円滑に中学校生活に移行できるようにします。 ○地域の行事等に積極的に参加できるよう、児童に情報提供を行います。

中期取組目標	
	○人との豊かな関わりを通し、成功体験をふやすことで自分に自信をもち、意欲的に活動に取り組む子どもを育てます。 ・多様な考えを働かせ、思考力・判断力・表現力等を身につけることで、主体的に学ぶ子どもを育てます。 ・人と豊かに関わることで、自分の良さに気づき、自己有用感をもてる子どもを育てます。 ・キラリンピックの取組や学校保健委員会の取組を通し、健康や安全の大切さに気づき、心身ともに健やかな子どもを育てます。 ・まちとの関わりを大切にし、地域社会の一員として、より豊かな人間関係を築ける子どもを育てます。 ・様々な社会の変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。

重点取組分野		具体的取組
知	授業づくり	①子どもが安心して授業に臨めるように、授業改善を図るとともに、学習環境を整える。 ②子どもが学ぶ楽しさを味わえるように、教材研究を充実させる。
担当	経営推進	
徳	特別支援教育	①児童理解の場をもち、児童理解を深める。②児童理解と支援方法について、研修や打ち合わせを通して、多様な視点をもつことで児童一人ひとりの困り感やニーズに対応した支援の推進を図る。
担当	児童指導	
体	保健管理	①家庭との連携とともに、児童会活動の取組や学校保健委員会を活用しながら、自立や実践につながるような姿を培う。②一校一実践運動を生かし、運動に親しむ機会を設けることで体力の向上を図る。
担当	児童指導	
公開	自分づくり	①子どもが自他をともに認め合えるように、ふり返り活動を大切にする。 ②自己肯定感を高められるように、「人とのつながり」を意識できるような活動を行う。
担当	経営推進	
いじめへの対応		①積極的ないじめ認知、経過観察を行うことで、いじめの再発防止に努める。児童の心に寄り添いながらの支援を徹底する。②いじめ防止研修を通して、いじめや虐待に対するアンテナを高める。日々の様子やアンケートなどを通して、些細な変化を見逃さないようにする。
担当	児童指導	
人材育成・組織運営（働き方）		①「笑顔いっぱい下和泉」を実現できるように、職員間の連携を大切にする。 ②「笑顔いっぱい下和泉」を実現できるように、働き方改革を推進する。
担当	経営推進	
		b7
担当		
		b8
担当		
		b9
担当		
		b10
担当		